

# ばい煙に関する説明書

事業者名

事業場名

設備名

令和 年 月

連絡先

電話番号

一 設置（変更）しようとする発電設備等の概要

事業者名		
代表者氏名		
代理人の職・氏名		
住所		
事業場の名称		
事業場の所在地		
ばい煙発生施設の概要	ばい煙発生施設 番号及び名称	
	ばい煙発生施設の 型式	
	蒸発量又は焼却能力	——— t / h
	加熱面積又は 火格子面積	——— m <sup>2</sup>
	燃料の燃焼能力 (重油換算)	
	発電設備等の番号 発電設備等の出力	機関出力                      電気出力                      発電電圧
	設置年月	令和    年    月
	着工・使用開始予 定年月	令和    年    月 ～令和    年    月

(発電電圧            V    発電容量            kVA)

- (注) 1 ばい煙発生施設番号及び名称の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 ばい煙発生施設がボイラーの場合は、蒸発量を記入すること。
- 3 ばい煙発生施設が発電設備又は動力設備の場合は、設備の番号及び出力を記入すること。

二 ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）

工場又は事業場における 施設の名称・番号		
排出基準	硫黄酸化物	
	（規制K値）	
	窒素酸化物	
	ばいじん	
使用燃料	種類	
	発熱量	
	比重	
	硫黄分	
	窒素分	
	灰分	
	使用量	
排煙条件	排出ガス量（湿り）	
	排出ガス量（乾き）	
	排出ガス温度	
	排出ガス速度	
	煙突の実高さ	
	煙突の有効高さ	
	排出ガス中の酸素濃度	
排出ばい煙	硫黄酸化物の量	
	硫黄酸化物の濃度	
	硫黄酸化物の最大 着地濃度	
	（相当K値）	
	窒素酸化物の量	
	窒素酸化物の濃度	
	ばいじんの量	
	ばいじんの濃度	
参考事項	この欄には、以下の事項等について記載すること。 （1）ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設について、一工程中の排出量の変動の状況  （2）窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法  （3）1日の標準稼働時間が24時間に満たない場合の稼働時間  （4）ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常用において用いられるものをいう。）の別	

### 三 ばい煙の処理方法

該当なし

### 四 添付図面

- (1) 事業場の所在地を示す5万分の1の地形図（設置場所を明示する。）
- (2) 事業場構内配置図（ばい煙発生施設、ばい煙処理設備、煙突の設置場所を明示する。）
- (3) ばい煙発生施設構造概要図（主要寸法及びバーナーの位置又は、シリンダ径及び気筒数等を明示する。）
- (4) ばい煙処理設備構造概要図（主要寸法、各部名称等を明示する。）

- 備考
- 1 本説明書のうち一～四について、写しを一部提出すること。
  - 2 本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
  - 3 非常用の設備にあっては、以下五～九について添付することを要しない。